(公財) 南信州・飯田産業センター 理 事 長 牧 野 光 朗

### 第14回EMCシンポジウムIIDA2013のご案内

日頃は当センターの運営につきまして深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。 さて、別紙のとおり「第14回EMCシンポジウムIIDA2013」を開催いたします。 第14回 EMC シンポジウムIIDA2013では、社会インフラ(自動車、電車、航空機等) におけるEMC問題の最新動向について業界等で活躍されている方々をお招きし、講演をして頂きます。

なお、地元参加者の方は、<u>講演会のみに参加の場合</u>、1人 **3**,000円、<u>講演会と交流会に参加の場合</u>、1人 **6**,000円となります。下記申込書により 10月18日までにFAX又はEメールにてお申し込みください。

また、参加費の納入につきましては、請求書をお送り致しますので、期限内に振込又は当日受付にて直接お支払いください。

今回のシンポジウムより、講演テキストはUSBメモリー(電子データ)での配布とさせて頂きますので、各自ノートパソコンをお持ち下さい。

申込先:〒395-0003

飯田市上郷別府3338-8 (公財) 南信州・飯田産業センター

TEL 0265-52-1630 FAX 0265-21-3134 e-mail: <u>iidaemc@isilip.com</u> 担当:木下

### EMCシンポジウム2013参加申込書(地元企業参加者専用)

平成25年 月 日

(公財) 南信州・飯田産業センター 理 事 長 牧野光朗 宛

会 社 名
郵便番号
主 所
電話番号
日当者名 日当者名

職名	参加者氏名	講演	交流会	参加費用
				3,000円・6,000円
				3,000円・6,000円
				3,000円・6,000円

# 第14回EMCシンポジウムIIDA2013

~社会インフラにおけるEMC問題~

開催期日 2013年10月24日(木) 13:00から 10月25日(金) 15:00まで

場 シルクホテル 2階 錦の間 〒395-0083 飯田市錦町1-10 会

### 10月24日(木) 13:00~19:40

開	13:00	開会あいさつ
会	$\sim$	本シンポジウムについて
式	13:10	

		電動車と EV 充電器に関する EMC
基	13:10	日産自動車株式会社 電子信頼性技術開発部 塚原 仁
調	15.10	カーエレクトロニクスの高度化とパワエレ機器の搭載によって、ますます複雑化してきている
講	14:00	自動車 EMC。最近話題の DC 急速充電器、ワイヤレス充電器の EMC を含め、電動車に関わる EMC
演		の特徴と CHAdeMO、CISPR/D、IEC TC69 等の国内動向・国際規格審議状況についてお話しいたし
		ます。

#### 14:00 ~ 14:10 休 憩

		自動車搭載用電子機器のEMC問題
	14:10	富士通テン株式会社 評価実験部 第二 EMC チーム 平林 勝次
講	$\sim$	車載用電子機器は、カーナビのようなAV製品からエンジン制御ECUのような製品まで非常
演	15:10	に幅が広い。これら電子機器は様々な環境で使用され、EMC品質も非常に厳しく要求される。
1		今回、車載用電子機器の製品動向と要求されるEMC試験に加え、実際の車両で発生するEMC
		不具合と設計改善事例を紹介する。また、この厳しいEMC品質を満足するためのEMC設計品
		質向上の取組みについて紹介する。

#### 15:10 ~ 15:20 休 憩

		鉄道車両周辺の低周波磁界について
講 演 2	15:20 ~ 16:20	公益財団法人鉄道総合技術研究所 低温システム開発室 室長 <b>長谷川 均</b> 近年、数十kHz 以下のいわゆる低周波磁界に関しては、規格化や規制が制定されるなど活発な動きがあり、世間的な関心も高まってきている。 磁界は直接目でみることができないため、計測やコンピュータシミュレーションによる可視化が重要なツールとなる。そこで、これらの可視化技術や鉄道車両特有の事象などについて概説したい。

#### 16:20 ~ 16:30 休憩

		民間航空機搭載機器のEMC試験の概要と試験事例
講演 3	16:30 ~ 17:10	多摩川精機株式会社 スペーストロニックス研究所 パワーコンポーネント課 主任 <b>北原 和仁</b> 民間航空機搭載機器の EMC 要求は RTCA/DO-160 (航空機搭載機器 - 環境条件及び試験手順) で規定されている。高い信頼性が要求される航空機は一般的な EMC 試験ではなじみのない試験 (直撃雷、雷誘起妨害感受性、高レベル妨害感受性 etc)が要求されている。 今回は本規格の概要と実際の試験事例を紹介する。

#### 17:40~19:40 **EMC技術情報交流会**

### 10月25日(金) 9:15~15:00

		電気接点のEMC
講 演 4	9:15 ~ 10:20	放送大学秋田学習センター 所長 <b>井上 浩</b> 電気接点は主要な電気接続デバイスであることはよく知られる。また、電流の断続を伴う電気接点は、主要な電磁ノイズの発生源でもある。古くから知られていながら、基本的な EMC問題のアプローチがなされているとは限らない。比較的低電圧、定電流で開離する電気接点の研究事例をもとに、EMCに関係する現象を解説する。
		e e e e e e e e e e e e e e e e e e e

10:20 ~ 10:30 休憩

		ワイヤレス電力伝送の安全性シミュレーション
<b>≑</b> #£	10.20	パナソニック株式会社 解析センター 主幹技師 太田 智浩
講演5	10:30 ~ 11:35	ワイヤレス電力伝送システムの高効率化や安全性向上のための電磁界シミュレーション について報告する。有限要素法を用いた電磁界シミュレーションでは巻線やコアで生じる高 周波損失のモデル化方法を提案し、ワイヤレス電力伝送へ適用してE M C や温度上昇な
		どの計算事例を紹介する。

11:35~12:35 昼 食

		LED照明の現状とその課題
		パナソニック株式会社 エコソリューションズ社ライティング事業グループ
講 演 6	12:35 ~ 13:40	平伴 喜光 省エネと長寿命を特長したLED照明が話題を呼んでいる。このLED照明の基本原理とLEDが照明分野に利用された経緯を説明すると共に、現状とその将来像を提示する。また一方で、LED照明が抱えている課題について、最新情報を提供する。

13:40 ~ 13:50 休憩

		30MHz 以下の放射妨害波測定
講	12.50	北川工業株式会社 春日井 EMC センター センター長 大橋 良紀
演演	13:50 ~	現在、IEC/CISPR において 30MHz 以下の磁界測定の規格化が検討されている。ここでは、
**	14:55	ループアンテナによる磁界測定が考えられているが、実際に電子機器から放射されるノイズ
'	14.33	は、放射源の違いにより磁界成分と電界成分の比率は様々である。
		本セッションでは、ループアンテナの基本的な特性を説明するとともに、電界放射と磁界
		放射の違いが、測定結果に及ぼす影響について紹介する。

閉会式	14:55 ~ 15:00	閉会あいさつ
-----	---------------------	--------

## 会場案内図

シルクホテル 2階 錦の間

〒395-0083 長野県飯田市錦町 1-10 TEL 0265-23-8383 FAX 0265-24-8383

